

## DEVICE AND SYSTEM FOR INFORMATION PROCESSING

Patent Number: JP2000276416  
Publication date: 2000-10-06  
Inventor(s): MARUYAMA TAKASHI  
Applicant(s): CASIO COMPUT CO LTD  
Requested Patent:  JP2000276416  
Application Number: JP19990081452 19990325  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F13/00; G06F9/445  
EC Classification:  
Equivalents:

---

### Abstract

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To reduce the burden to a manager in program delivery.

**SOLUTION:** When the manager transmits a program delivery indication mail from a computer 12 for management different from a delivery source computer 10 by an electronic mail, the delivery source computer 10 analyzes this delivery indication mail to transmit a module delivery mail including the indicated program to delivery destination computers 14-1, 14-2,... at the designated delivery date. Delivery destination computers 14-1, 14-2,... analyze the transmitted module delivery mail, and they automatically execute the indicated program if there is program execution information in this mail.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2





8

はそれぞれ、図5に示すような処理を実行する。  
【0034】即ち、まず、メールサーバー内の受信メールをチェックして(ステップS40)、モジュール配布メールが届くのを待つ(ステップS42)。

【0035】そして、モジュール配布メールを受信したならば、その受信したモジュール配布メールのsubjectが“アプリケーション配布”で始まっているかど  
うかを判別する(ステップS44)。“アプリケーション配布”で始まらないと判別した場合は後述するステップS64まであると判別され、その場合は、上記ステッ  
プS52に進む。そして、上記ステップS52乃至ステッ  
プS62の処理が行われるが、この場合は、ステッ  
プS60においてモジュール配布メールの本文にパラメ  
ータの設定があると判別される。而して、このようにパラ  
メータの設定があると判別された場合には、そのパラメ  
ータを読み取る(ステップS66)、ステップS6  
2での実行ファイルの実行が行われることになる。

【0040】また、上記ステップS64において、モジ  
ュール配布メールのsubjectが“プログラム実  
行”で始まらないと判別された場合には、更に、そ  
のsubjectが“緊急連絡”で始まっているかどうか  
を判別する(ステップS68)。そして、そのような  
“緊急連絡”で始まらないと判別された場合にはこ  
の処理を終するが、図4の(B)に示すモジュール配  
布メールのように、“緊急連絡”で始まっている場合  
は、動作画像、文字、音楽、音声、等を組み合  
わせた比較的効果的なメッセージがユーザーに報知され  
ることになる。

【0046】但し、このアプリケーションで正しくレ  
ゼンファイルの再生が行えない場合は、上記ス  
テップS98においてアプリケーションがインストールさ  
れていないと判別された場合は、(ステップS9  
0に進む)。而してこの場合は、図4の(B)の例では、  
まだワープロファイル及びテキストファイルがあるの  
で、ステップS92で3番目のワープロファイルを取得  
して、上記ステップS82に戻ることになる。

【0047】そして、保存場所がURLであると判別さ  
れた場合には、ステップS82において、そのワープロ  
ファイルの自動実行が許可されているか否かを判別す  
る。あるいは、上記ステップS50でセントアップア  
ップS54)、この処理を終する。

【0048】これに対して、上記ステップS46でセ  
ントアップの自動実行が許可されていると判別された場  
合、あるいは、上記ステップS50でセントアップア  
ップS54)、この処理を終する。

【0049】一方、実行ファイルが含まれていると判別  
されたときには、その添付ファイルを作成用ディレクト  
リに保存し(ステップS56)、ウイルスチェックや密  
度元チェック等のセキュリティ確認を行なう(ステップS  
58)。その後、上記受信したモジュール配布メールの  
本文にパラメータの設定があるかどうかを判別する(ス  
テップS60)。図3の(C)に示すようなアプリケ  
ーション配布の場合には、このようなパラメータの設定は  
ないので、上記作業用ディレクトリに保存した添付ファ  
イルの内の実行ファイルを実行して(ステップS6  
2)、この処理を終する。

【0050】また、図4の(A)及び(B)に示すよう  
なモジュール配布メールを受信したときには、上記ス  
テップS44において、そのモジュール配布メールのsu  
bjectが“アプリケーション配布”で始まっている  
と判別されたときには、それを取得して(ステップS9

9

)、上記ステップS82に戻る。即ち、図4の(B)  
の例では、まだセントアップアリケーション)での文書  
テキストファイルがいるので、2番目のプレゼンツァイ  
ルを取得して、上記ステップS82に戻ることになる。

【0051】そしてこの場合は、ステップS82において、  
そのプレゼンツァイルの保存場所がサーバーであ  
る、そのプレゼンツァイルの保存場所がサーバーであ  
ると判別されるので、サーバーつまり上記ステップS102ににおいてこ  
のアプリケーションでも正しくテキストファイルの再生  
が行えないつまりエラーが発生したと判断された場合、  
あるいは、上記ステップS98においてアプリケーション  
がインストールされていないと判別された場合は、  
上記ステップS90に進むが、図4の(B)の例では、  
もはや次の指定文書情報が無いと判断されることにな  
る。この場合には、緊急メッセージがあったことを画面  
表示して(ステップS104)、上位のルートに戻  
る。

【0050】以上のように、本発明の一実施の形態によ  
れば、アプリケーション配布の指示を管理用コンピュー  
タ1から電子メールで行えるようにしたので、配布元  
タ1から電子メールで行える必要がなく、メールの  
利用できるリモートコンピュータ上から行えるという效  
果がある。

【0051】また、アプリケーション配布を配布先コン  
ピュータ14-1、14-2、…への電子メールで行え  
るようにしたので、配布先コンピュータ14-1、14  
-2、…の状態にかかわらず非同期に配布処理が行える  
という効果がある。

【0052】なお、モジュール配布の例として、“アプ  
リケーション配布”、“プログラム実行”、“緊急連  
絡”としたが、本発明はこれに限定されるものではな  
く、“アプリケーションの設定変更”、“ファイル配  
布”、“データベース更新”、等、種々の機能が考  
れる。

【0053】その他、本発明の要旨を逸脱しない範囲  
で、種々の変形変更が可能なことは勿論である。  
【0054】【発明の効果】本発明によれば、プログラム配布におけ  
る管理者の負担を減らすことができる。  
【図1】(A)は本発明の一実施の形態の構成を示すフ  
ローワーク図であり、(B)は配布指示メールの例を示す  
図である。

【図2】配布元コンピュータにおける受信処理のフロー  
チャートである。

【図3】(A)は図1の(B)の配布指示メールに対応  
するスケジュールキーの配布指示情報を示す図、  
その後、上記と同様の処理がなされて、対応するアブリ  
ケーション配布の場合はテキストファイルを元のモジ  
ュール配布メールのsubjectに組み合わせたメッセージがユーザーに報知される。

【図面の簡略化説明】

10

ケーション(この場合はテキストブラウザアリケーシ  
ョンやテキストプラグインアリケーション)でそのまま文書  
ファイル(この場合はテキストファイル)を指定してそ  
のアプリケーションを開くことになる。この場合は、文  
字装飾のない文字のみのメッセージがユーザーに報知され  
ることになる。

【0049】そして、上記ステップS102においてこ  
のアプリケーションでも正しくテキストファイルの再生  
が行えないつまりエラーが発生したと判断された場合、  
あるいは、上記ステップS98においてアプリケーション  
がインストールされていないと判別された場合は、  
上記ステップS90に進むが、図4の(B)の例では、  
もはや次の指定文書情報が無いと判断されることにな  
る。この場合には、緊急メッセージがあったことを画面  
表示して(ステップS104)、上位のルートに戻  
る。

【0050】以上のように、本発明の一実施の形態によ  
れば、アプリケーション配布の指示を管理用コンピュー  
タ1から電子メールで行えるようにしたので、配布元  
タ1から電子メールで行える必要がなく、メールの  
利用できるリモートコンピュータ上から行えるという効  
果がある。

【0051】また、アプリケーション配布を配布先コン  
ピュータ14-1、14-2、…への電子メールで行え  
るようにしたので、配布先コンピュータ14-1、14  
-2、…の状態にかかわらず非同期に配布処理が行える  
という効果がある。

【0052】なお、モジュール配布の例として、“アプ  
リケーション配布”、“プログラム実行”、“緊急連  
絡”としたが、本発明はこれに限定されるものではな  
く、“アプリケーションの設定変更”、“ファイル配  
布”、“データベース更新”、等、種々の機能が考  
れる。

【0053】その他、本発明の要旨を逸脱しない範囲  
で、種々の変形変更が可能なことは勿論である。  
【0054】【発明の効果】本発明によれば、プログラム配布におけ  
る管理者の負担を減らすことができる。  
【図1】(A)は本発明の一実施の形態の構成を示すフ  
ローワーク図であり、(B)は配布指示メールの例を示す  
図である。

【図2】配布元コンピュータにおける受信処理のフロー  
チャートである。

【図3】(A)は図1の(B)の配布指示メールに対応  
するスケジュールキーの配布指示情報を示す図、  
その後、上記と同様の処理がなされて、対応するアブリ  
ケーション配布の場合はテキストファイルを元のモジ  
ュール配布メールのsubjectに組み合わせたメッセージがユーザーに報知される。

【図面の簡略化説明】

10

(A) のスケジュールキューの配布指示情報に対応する  
配布モードが“アプリケーション配布”であった場合の  
モジュール配布メールの内容を示す図である。

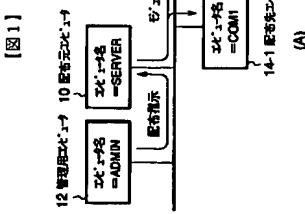
【図 4】(A) は配布モードが“プログラム実行”であ  
った場合のモジュール配布メールの例を示す図であり、  
(B) は配布モードが“緊急連絡”であった場合のモジ  
ュール配布メールの例を示す図である。

【図 5】配布先コンピュータにおける処理を説明するた  
めのフローチャートである。

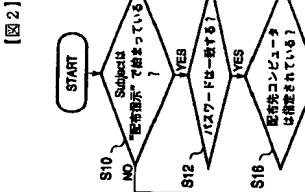
【図 6】文書表示処理サブルーチンの詳細を示  
すフローチャートである。

【符号の説明】

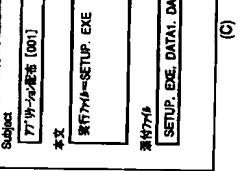
- 1.0 配布先コンピュータ
- 1.2 管理用コンピュータ
- 1.4, 1.4-1, 1.4-2 配布先コンピュータ



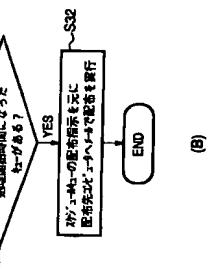
【図 1】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1



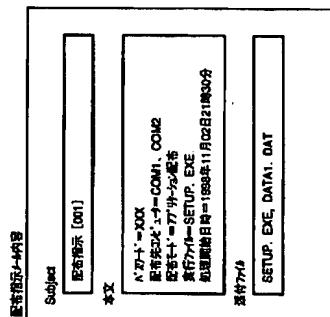
【図 2】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1



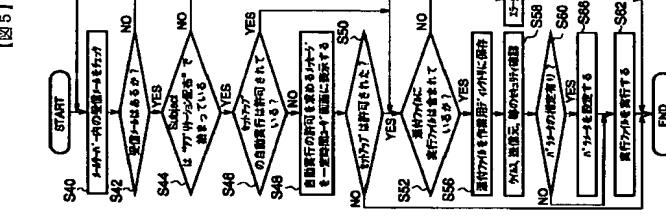
【図 3】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1



【図 4】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1



【図 5】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1



【図 6】  
12 普通用ビット 10 普通用ビット 1-1

[図6]

